

去る9月4日(水)例会に先立ち、古瀬俱之ガバナー、佐藤勝博随行幹事をお迎えし、会長・幹事懇談会を開催いたしました。この会には、次年度の会長・幹事も同席しロータリークラブとしての使命並びにロータリアンとしての心構え等についてご指導を受けたところです。

はじめに、本年度クラブ運営について会長としての方針、最重点目標、重点目標を説明し、本年度会長としてのその想いをお伝えしました。次に、幹事よりクラブの概況を報告し、課題や取組んでいる現状を説明しました。

ガバナーからは、当クラブが示している運営方針について、より実効性のある取組みができるきめ細やかな指導を受けたところでもあります。

ガバナーからは、クラブ活動・運営計画書へ頂いているメッセージをより解りやすく、「ともに奉仕でつながり、ともに成長」するためのロータリーの基本である「心」についてご指導を受けたところです。

例会では、持参いただいた記念の鐘による点鐘から始まり、入会式では新入会員へガバナーから直接バッジを付けていただき、新入会員は感激しロータリアンとしての自覚を強く感じたものと察ししたところです。

例会での卓話では、高校入学時、大谷翔平の野球に対する将来ビジョンの緻密さを例題として話され、クラブ活性化への取組みのプロセスの大切さを感じ、会員一同有意義な時間を過ごさせていただきました。

ありがとうございました。今後ともご指導をお願いいたします。

以上、ご報告させていただきます。

江津ロータリークラブ

2019-20年度 会長 和木田 登